

2019年度 光材料・応用技術研究会 講演題目

	テーマ (開催日)	講演テーマ	講師(敬称略)
第1回	情報通信技術最前線 -ファイバ無線、量子中継から水中通信まで- 2019/6/18	ファイバ無線技術とその応用:レーダー技術と高速通信への展開	菅野 敦史(NICT)
		量子光中継技術の概要と最新動向	生田 力三(大阪大学)
		光リザーバコンピューティングの進展とモデル選択応用	菅野 円隆(埼玉大学)
		水中光無線通信研究の現状と課題	埴 雅典(山梨大学)
		国際会議OFC2019報告	土居 芳行(NTT)
第2回	レーザーセンシングが 拓く超スマート社会 2019/8/30	超スマート社会にむけたセンシング技術の進化と、その展開	平等 拓範(理化学研究所)
		レーザーを利用した最新打音検査技術 -ここまで来た、構造物の高速センシング-	北村 俊幸 (量子科学技術研究開発機構)
		次世代の測域センサが求める光技術 -ロボットフォトニクスへの期待-	嶋地 直広(北陽電機)
		新たな測定の幕開け? -ドローンからのレーザーセンシングによる防災、減災、強靱化-	富井 隆春 (アミューズワンセルフ)
	(特別講演) 農業革新 -IoTによる最新の農業・食品現場-	久間 和生 (農業・食品産業技術総合研究機構)	
第3回	機能材料・薄膜・応用 技術-揺らぎ・散乱の 制御および画像化技術- 2019/11/7-8	ポリマー散乱複屈折制御による高精細リアルカラーディスプレイ	小池 康博(慶應義塾大学)
		マイクロカプセル拡散体によるスペックル低減	岡垣 覚(三菱電機)
		ナノコンポジットホログラフィック格子からの光波および中性子物質波のブラッグ散乱とその応用	富田 康生(電気通信大学)
		散乱媒体としてのプラスチック光ファイバーとその応用性について	古川 怜(電気通信大学)
		国際会議ASSL2019報告	平等 拓範(理化学研究所)
		(ナイトセッション) GaN薄膜結晶成長における揺籃期を振り返る	松岡 隆志(東北大学)
		生物散乱体のOCT画像化技術	川杉 昌弘(santec)
		多光子励起蛍光顕微鏡における励起光波面歪みの補償	戸田 圭亮(理研・シンクサイト)
		分極反転波長変換デバイスの散乱・吸収	栗村 直(物質・材料研究機構)
		シリカガラスの密度揺らぎと散乱	小野 円佳(北大・AGC)
第4回	[中止] 量子技術の基礎と 最新動向 2020/3/6	[計画] 量子技術の世界動向とビジネス応用の最前線	湊 雄一郎(MDR(株))
		[計画] 量子情報技術入門 ~量子計算・量子計測を例にして~	鹿野 豊(慶應義塾大学)
		[計画] 光発振器のネットワークを用いた組合せ最適化	稲垣 卓弘 (NTT物性科学基礎研究所)
		[計画] 単一光子と量子もつれ光子 -量子光情報技術の基礎-	枝松 圭一(東北大学)
		[計画] 国際会議Photonics West 2020報告	平等 拓範(理化学研究所)